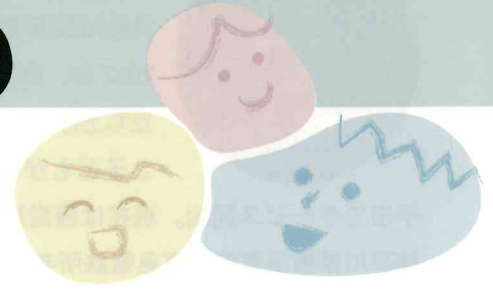


地域の 居場所づくり 交流会Ⅷ



2024年3月3日 日

会場

ちがさき市民活動サポートセンター 14:00～17:00

近年、「プレイスメイキング」というパブリックなスペース（公園、道路、公開空地、空き地など）のアプローチ法が注目されています。コンセプトによって場の既存イメージを変換させて、ワクワクした居場所へと再編集することで、多世代が交流する場づくりの可能性がうまれています。ここ茅ヶ崎市は、人口増が続き、子育て人口も増えていますが、自然環境が豊かな一方、まちなかで多世代と一緒に過ごし、交流する場が多いとはいえません。日常的に交流が出来たりワクワクする居場所がもっと点在していたら、まちと人との関係性も少しずつ変わっていくかも！？今回、原っぱ大学ガクチョーの塚越暁さん、一般社団法人ソトノバの理事の田村康一郎さんをメインスピーカーにお招きして、お二人の活動とともに市内の実践事例を交え、『まちなか場づくりのこれから』の可能性を探ります。参加者同士の意見交換も行い、テーマに関心を寄せる人々のネットワークづくりを進めます。



△お申し込みはこちら
お申し込みは、直接来館、お電話
メール、HP上のフォームでも可能です

プログラム

対象

1 講演

つかこし あきら
講師：塚越 暁さん
▷ HARAPPA（株）代表取締役、
原っぱ大学ガクチョー

たむら こういちろう
講師：田村 康一郎さん
▷ 一般社団法人ソトノバ理事、
生駒プレイスメイキング

2 事例報告

こしじ きよみ
・越地 清美さん ▷ ちがぼ～代表
かわち さとる
・河内 聖さん ▷ ハラペコブックス

3 パネルトーク

4 交流会

プレイスメイキングを通じた居場所づくりに関心のある市民、
市民活動団体、自治体・福祉団体などの職員、学校関係者など

ちがさき市民活動サポートセンター

TEL/FAX 0467-88-7546

E-mail s-center@pluto.plala.or.jp

※手話通訳・要約筆記、託児（生後6か月～3歳）をご希望の方は
2/15までにお申込みください。



申込期間 2/1～2/22（先着順・申込制）

参加費 300円（資料代）

定員 30名

講演の講師紹介



塚越 暁 さん (HARAPPA 株式会社 代表取締役、原っぱ大学ガクチャー)

神奈川県逗子市生まれ、在住。雑誌編集、ECサイト運営、経営企画と11年の会社員生活を経て独立。2012年、個人のプロジェクトとして大人と子どもが共に思い切り遊ぶ場「子ども原っぱ大学」を立ち上げる。2015年、HARAPPA 株式会社を創業し、サービス名を「原っぱ大学」に変更。大人と子どもがフィールドで共に全力で遊び、関係を形作る会員制プログラムとして神奈川県逗子市でサービス開始。現在は直営拠点を千葉県佐倉市、大阪府茨木市にも展開。アクティブ会員数は500家族超。神奈川県横須賀市の京急電鉄所有の放逐林の再生プログラム「みうらの森林プロジェクト」や福島県田村市の森林での親子プログラム「もりのび」など原っぱ大学の知見を展開して遊休地の利活用プロジェクトをコンサルティング・プロデュースを実施している。

HARAPPA 株式会社の事業ミッション「余を復権しよう」の実現のため、大人・子どもが余裕、余白をもって暮らしていくためのサービスを多数展開。



田村 康一郎 さん (一般社団法人ソトノバ理事、生駒プレイスメイキング)

「小さくても目に見える取り組みから、人間味のあるパブリックスペースづくりで世界をよくしたい」という思いから、プレイスメイキングというアプローチの実践と普及に取り組む。ニューヨークに留学して先進的なパブリックスペース改革について吸収し、その経験を日本で活かすべく、ソトノバや Placemaking Japan で活動を行っている。また、奈良県生駒市を拠点

に市民として駅前や公園を使った活動に取り組む一方、東京でコンサルタントとしても活動し、都市再開発などに伴う広場・公園の活用やマネジメントについてプランニングを行っている。共編著に「タクティカルアーバンイズム：小さなアクションから都市を大きく変える」。

事例報告団体紹介

越地 清美 さん (ちがぼ〜代表)



ちがぼ〜は、子どもたちに自由な遊び場が欲しいと願う地域住民が2005年に立ち上げた冒険遊び場で、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、子どもたちの「やっ

てみたい」を最大限尊重し子どもたち自身が遊びを作り出していく場所です。

少しぐらいの怪我や痛みも大切な経験。安心してどんどん失敗できるように、ありのままの自分でいられるように、スタッフが場作りと見守りを行っています。

現在、茅ヶ崎市民の森と体験学習センターうみかぜテラス横にて月に3~4回、茅ヶ崎市の委託を受けて活動しています。

河内 聖 さん (ハラペコボックス)



全国津々浦々、急速に広がりを見せている「きんじょの本棚」62店目、ハラペコボックス店の店主(代理)です。スーパーカーブに本棚を積んで、いろいろな

場所で本の貸し出しをしています。ご要望があれば、いつでもどこでも参ります。バンド・ヨkkeri音楽隊でも活動中。小学校教員。本と音楽と「そりゃあもういいひだったよ」をテーマに、子どもを中心にした居場所づくりを目指して、毎日たのしく過ごしています。

公共スペースの計画、設計、管理に対する多面的なアプローチ方法。ハードとプレイスメイキングとは？ しての「場」ではなく、空間の居心地が良くなり、楽しいコンテンツが生まれ育ち、賑わいが生まれ魅力が増し、そしてまちの価値が上がっていく場づくりのこと。